

N響

NHK交響楽団定期演奏会

(愛知県芸術劇場シリーズ)

2023 **2/19** **Sun.**
15:00 開演
(14:15開場)

愛知県芸術劇場コンサートホール
(愛知芸術文化センター4階)



Conductor / **Jakub HRŮŠA**

ヤクブ・フルシャ

欧米で躍進を続け、急速に世界各地で
その評価を高めている若手指揮者

©Petra Klackova

ブラームスの名作交響曲に
ご期待ください。



Piano / **Piotr ANDERSZEWSKI**

ピョートル・アンデルシェフスキ

独創的かつ詩的感覚にあふれるピアニスト

©Simon Fowler



Conducto
ヤクブ・フルシャ
Jakub HRŮŠA
©Petra Klackova

プラハ・フィルハーモニア音楽監督兼首席指揮者、東京都響首席客演指揮者などを歴任。ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管、バイエルン放送響、パリ管、ボストン響などに客演。オペラでもグランドポーン音楽祭、ロイヤルオペラハウス、ウィーン国立歌劇場、パリ・オペラ座などに招かれる。

2011年グラモフォン誌で巨匠となる可能性の高い10人の若手指揮者の一人に挙げられる。10年、プラハの春音楽祭開幕公演に史上最も若い指揮者として招かれ、12年と15年にはプラハ・フィルハーモニアと日本ツアー。15年、サー・チャールズ・マッケラス賞の最初の受賞者。20年、ドボルザーク賞、バイエルン州音楽賞を受賞。同年、2作品がBBCミュージック・マガジン・アワード受賞、21年グラモフォン・アワード、グラミー賞へのノミネートなど録音でも評価が高い。

バンベルク響首席指揮者、チェコ・フィル首席客演指揮者、サンタ・チェーリア管首席客演指揮者。国際マルティナー協会会長。



Piano
ピョートル・アンデルシェフスキ*
Piotr ANDERSZEWSKI
©Simon Fowler

現代を代表する傑出した音楽家のひとりであり、ウィーン・コンツェルトハウス、ベルリン・フィルハーモニー、ウイグモア・ホール、カーネギー・ホールなどから繰り返しリサイタルに招かれる他、ベルリン・フィル、ロンドン交響楽団、パリ管弦楽団、NHK交響楽団など各国を代表する楽団と共演。ヨーロッパ室内管をはじめ自ら弾き振りする機会も多い。

ギルモア・アーティスト賞、シマノフスキ賞、ロイヤル・フィルハーモニック協会器楽賞など受賞多数。

2000年よりワーナー・クラシックスと専属契約。数々の録音はショック賞、エコー賞、グラモフォン誌ピアノ部門年間最優秀賞など国際的評価を得ている。著名な映像作家ブルーノ・モンサンジョン監督はアンデルシェフスキに関して数々のドキュメンタリー・フィルムを制作している。

2016年には、アンデルシェフスキ自らがカメラを回し、自身の故郷ワルシャワとの関わりを解き明かす音楽ドキュメンタリー“私はワルシャワ”を制作。

《プログラム》

ドヴォルザーク：序曲「フス教徒」作品 67

Dvořák / Hussite Overture, Op.67

シマノフスキ：交響曲 第4番 作品 60「協奏交響曲」*

Szymanowski / Symphony No.4 Op.60, Symphonie concertante

ブラームス：交響曲 第4番 ホ短調 作品 98

Brahms / Symphony No.4 E Minor Op.98

管弦楽：NHK交響楽団

NHK Symphony Orchestra, Tokyo

1926年に新交響楽団として結成され、日本交響楽団の名称を経て、1951年NHK交響楽団と改称。カラヤンなど世界一流の指揮者や話題のソリストを次々と招聘し、歴史的な名演を残してきた。現在、年間54回の定期公演をはじめ、全国各地で約120回のコンサートを行い、その演奏はNHKのテレビ・FM放送で日本全国に放送されるとともに、国際放送を通じて全世界にも紹介されている。2013年8月、ザルツブルク音楽祭に初出演、2020年春にはベルリン、ウィーンをはじめ、ヨーロッパ主要9都市で公演を行うなど、その活動ぶりと演奏は国際的にも高い評価を得ている。また近年は、次世代を育てる教育プログラムや社会貢献活動にも力を注いでいる。

指揮者陣には、首席指揮者ファビオ・ルイージ、名誉音楽監督シャルル・デュトワ、桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテット、桂冠指揮者ウラディーミル・アシュケナージ、名誉指揮者パーヴォ・ヤルヴィ、正指揮者外山雄三、尾高忠明を擁している。

全席指定 Ticket

S ¥10,000 A ¥8,000 B ¥6,500

C ¥5,000 (U25 ¥2,500)

プレミアムシート ¥13,000
Premium Seat

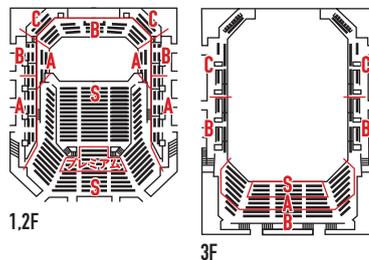
12/16 fri.10:00 発売

Launched at 10:00 on Friday, 16th December, 2022

※愛知県芸術劇場メンバーズは
☆印の窓口で1日早く購入できます。

愛知県芸術劇場メンバーズウェブ先行販売

12/9 fri.10:00 ~ 10 sat.23:59



※U25は公演日に25歳以下対象(要証明書)。
※車椅子席、ヒアリングループ席は劇場事務局
(TEL:052-211-7552, contact@aaf.or.jp)にて取扱い。
※未就学児入場不可。託児サービスあり。
※やむを得ない事情により、
内容・出演者等が変更する場合があります。
※開演中は入場できない場合があります。

【託児サービス(有料・要予約)】 Childcare Service

- 対象 / 満1歳以上の未就学児 ○料金 / 1名につき1,000円(税込)
- 申込締切 / 2月11日(土)
- お申込み・問合せ / オフィス・パレット(株)
TEL 0120-353-528 (携帯からは052-562-5005)
受付/月~金 9:00~17:00 土 9:00~12:00 日・祝日休業

【観劇・鑑賞サポート対象公演】

ご希望の方は劇場事務局(以下のお問合せ)まで事前にご連絡ください。

●視覚に障がいがあるお客さまへのサポート

当日会場に点訳プログラムをご用意しております。事前にごプログラムのデータをEメールでお送りできます。

●聴覚に障がいがあるお客さまへのサポート

聴覚支援システムとして「ヒアリングループ(磁気ループ)」が客席の一部で作動します。申込締切/2月11日(土)



【チケット取扱い】 Ticket Offices

※購入方法により、チケット代金のほかに手数料が必要になる場合があります。

☆愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス

Online ticket service by Aichi Prefectural Art Theater

https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event/

☆愛知芸術文化センタープレイガイド(地下2階)

Box office at Aichi Arts Center

TEL 052-972-0430 平日 10:00~19:00 土日祝休~18:00

(月曜定休/祝休日の場合、翌平日)12/28~1/3年末年始

○チケットぴあ Pコード 224-009 https://t.pia.jp

Ticket PIA

○アイ・チケット https://clanago.com/i-ticket

iTicket

TEL 0570-00-5310



【アクセス】 Access

地下鉄東山線または名城線「栄」駅下車
徒歩5分、名鉄瀬戸線「栄町」駅下車 徒歩5分
(オアシス21地下連絡通路経由または2F連絡橋経由)
5 minutes on foot from Sakae Station on the Higashiyama Subway Line or the Meijo Subway Line
5 minutes on foot from Sakae-Machi Station on the Meitetsu Seto Line (Via the underground or the 2nd floor accessway from Oasis 21)

【お問合せ】 Contact

愛知県芸術劇場

〒461-8525 名古屋市中区東桜1-13-2

(愛知芸術文化センター内)

TEL 052-211-7552(10:00-18:00)

FAX 052-971-5541 Email: contact@aaf.or.jp

https://www-stage.aac.pref.aichi.jp

※ご来場前にご確認ください
(新型コロナウイルス感染症対策)

